

START

第1学年通信

第3号

平成31年

4月10日(水)

新入生誓いの言葉—入学式にて—

4月8日(月)、入学式の中で、「新入生誓いの言葉」として、1年4組の柏倉萌杏さんが、中学生としての希望や夢、一中生としての自覚を語りました。その一部を紹介します。



この東根市立第一中学校には、東根小学校、東根中部小学校、その他の小学校の仲間がたくさん集まっています。仲間と共に協力し、助け合うことで絆を深め、たくさんの思い出を作っていきたいです。

(中略)授業内容は小学校で学んだことより深くまで調べたり、本格的な英語の授業が始まったりと、新しくなっていくので、計画に的に取り組み、より深く学びたいです。

中学生になると、今まで以上に自分でできることが増え、その一つ一つの行動に責任がともなってきます。だからこそ、東根市立第一中学校の生徒としての自覚を持ち、どんなことも一生懸命に取り組んでいきたいと想います。



ハートフル・コーナー

- 4月9日(火)、学年で一番早く登校していた生徒は、星川さんでした。7時25分には玄関にいたそうです。朝、余裕を持って登校できるというのは、生活リズムが整っている証拠です。また、教室の中で、部活動の希望について話を聞かせてもらいました。夢があって、良いですね。
- 入学式の前日、天童市にあるお店で、井上くんと出会いました。店の玄関でばったりあったのですが、私もほぼ初対面だったので、「お、どこかで見たことがあるけれど・・・」という感じでした。すると、井上くんの方から私にあいさつしてくれました。なかなか勇気のいることです。どうもありがとうございます。
- 入学式の後、写真撮影の場面で、阿部くんが、体調を崩して欠席した級友のことを気にかけて、「写真はどうするんですか？」と担任の先生に声をかけていました。これから一緒に生活していく仲間のことを想う言葉、配慮に感謝です。
- 朝、玄関であいさつをしていると、佐藤くんが私のところに来て、「先生、小学校に来て授業してくれましたよね。良い発音でした。」と私に声をかけてくれました。ほめられるというのは、うれしいものです。コミュニケーション能力が高いなあと感じました。そういう温かなやりとりで、1年生全体で行われるとうれしいです。ありがとうございます。